

北塩原村まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

～ 元気があったか・こぞって創るいい村 北塩原 ～

計画期間 2015年度(平成27年度) ⇒ 2019年度(平成31年度)

⇒ 平成28年度以降、外部委員による組織により進捗状況を評価。

⇒ 実行計画の見直しを図りながら目標達成に向けて対策に取り組んでいきます。

基本目標 1

北塩原村における安定した雇用を創出する

(1)観光地「裏磐梯」の魅力を核とした誘客対策の推進

観光施設の再整備、ジオパーク、エコツーリズム、合宿ツーリズム、教育旅行、外国人誘客対策

(2)気候風土を生かした一次産業のブランド化の推進

東京農業大学との連携、基幹作物ブランド化、農業公社設立、地産地消の推進

(3)村民が活気づく企業誘致の推進

工場等立地の促進

(4)多様な資源や産業の連携による新たな雇用や産業の創出、起業支援の推進

商工業経営支援、六次化商品の開発、空家活用起業支援

基本目標 3

北塩原村に暮らす若い世代の

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1)結婚を希望する村民を支援する環境づくりの推進

出会いの場創出、結婚相談体制の構築

(2)住んで良かった喜びを実感できる出産・子育てを支援する環境づくりの推進

妊婦健診受診勧奨、常設交流広場の整備

(3)性別を問わず多世代で支え合う環境づくりの推進

ファミリーサポートセンターの設置、地域住民による学校支援体制の強化

(4)幸せあふれる結婚・出産・子育ての村づくりの推進

誕生・子育て祝金、18歳以下医療費の助成、保育料の軽減、文化・スポーツ活動の奨励

基本目標 2

北塩原村への新しいひとの流れをつくる

(1)北塩原村の認知度を高め、一度きてもらう対策の推進

交流イベント開催・誘致、歴史資源掘り起こし

(2)北塩原村の魅力に触れ、リピーターを増やす対策の推進

地域おこし協力隊の導入、進学・進路支援、空家・移住・定住相談体制の構築、若者公営住宅の整備

(3)北塩原村民とともに考える仲間を増やす対策の推進

在京きたしおばら会、村出身者・学生メール便、ふるさと納税の推進、空家・空店舗の利活用

基本目標 4

時代に合った北塩原村をつくり、安心な暮らしを守るとともに 関係地域との連携を図る

(1)安心な暮らしを支える生活環境の整った村づくりの推進

公共交通機関の整備、防災体制の強化

(2)多様な村民の暮らしを支えるコミュニティづくりの推進

住民活動を支援する体制の整備、村民との協働による地域イベントの開催、生涯学習の推進

(3)資源を高め、不安を小さくする村内外の自治体・地域間交流の推進

「日本で最も美しい村」連合連携(地域資源活性化)、杉並区等交流自治体連携(防災、教育旅行、人的資源の要請)

【基本目標 1 目標値(主なもの)】

○観光客入込数

276万人(2015)⇒330万人(2019)

○道の駅での農産物販売額

4700万円(2015)⇒5000万円(2019)

【基本目標 2 目標値(主なもの)】

○空家改修支援による転入世帯数(延べ)

0世帯(2015)⇒11世帯(2019)

○公営住宅戸数

58戸(2015)⇒64戸(2019)

【基本目標 3 目標値(主なもの)】

○結婚相談員

0人(2015)⇒5人(2019)

○学校支援ボランティア

77人(2015)⇒100人(2019)

【基本目標 4 目標値(主なもの)】

○公共施設WiFi設備設置数

0カ所(2015)⇒15カ所(2019)

○交流フェスタ参加者

593人(2015)⇒1000人(2019)